

## Q. 町の封筒等へ宣伝広告を A. 10月をめどに実施する



坪井 武成 議員



他市で行われている宣伝広告

**Q** 住民の方との話で「他の町の封筒に、民間事業者の広告がある。豊山もどうか。町財政的にも助かる。」とのこと。年々財政は苦しくなり、その上、JALが名古屋空港から全面撤退すると、財政的には勿論、他にも大きな影響が

**A** 封筒への広告掲載については、財源確保策として総合計画に出てくる。こうした事からも経費の節約ができるよう考えたらどうか。また、町のタウンバスにも宣伝広告を。これも財源の助かる一因になる。

に掲げている。町で使用している封筒の種類等について整理を行い、先進自治体の例を参考にどの封筒を対象とするのか検討した後、10月をめどに実施する。

タウンバス車体への広告掲載は、一定の収入が期待できるが、町のPR効果は失われてしまう。車内広告については、バス会社と協議していく。

## Q. 地デジ放送による町財政への影響は

### A. 放送設備の更新に、3100万円必要

**Q** 「とよまチャンネル」はかなりの皆さんに周知され親しまれている。ただ、議会中継はあまり関心が無いようだ。地デジ切替えにより現在の放送を続けようとする、どうした変更が生じるか。予算はどのくらい必要か。

**A** とよまチャンネルは、デジタル化後も継続していく。継続に係る経費については、町の負担として本庁舎にある放送設備をデジタル対応のものに更新する費用として、約3100万円の費用が必要となる見込みである。議会中継の継続には別途年間約180万円必要である。